

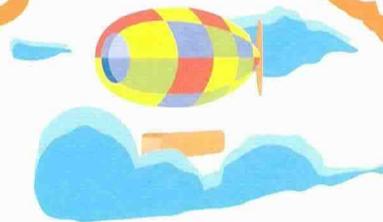
NO.76
SHIMIN PHOTO
市民フォト

曲比見島

平成11年4月1日発行



わがまち上空散歩



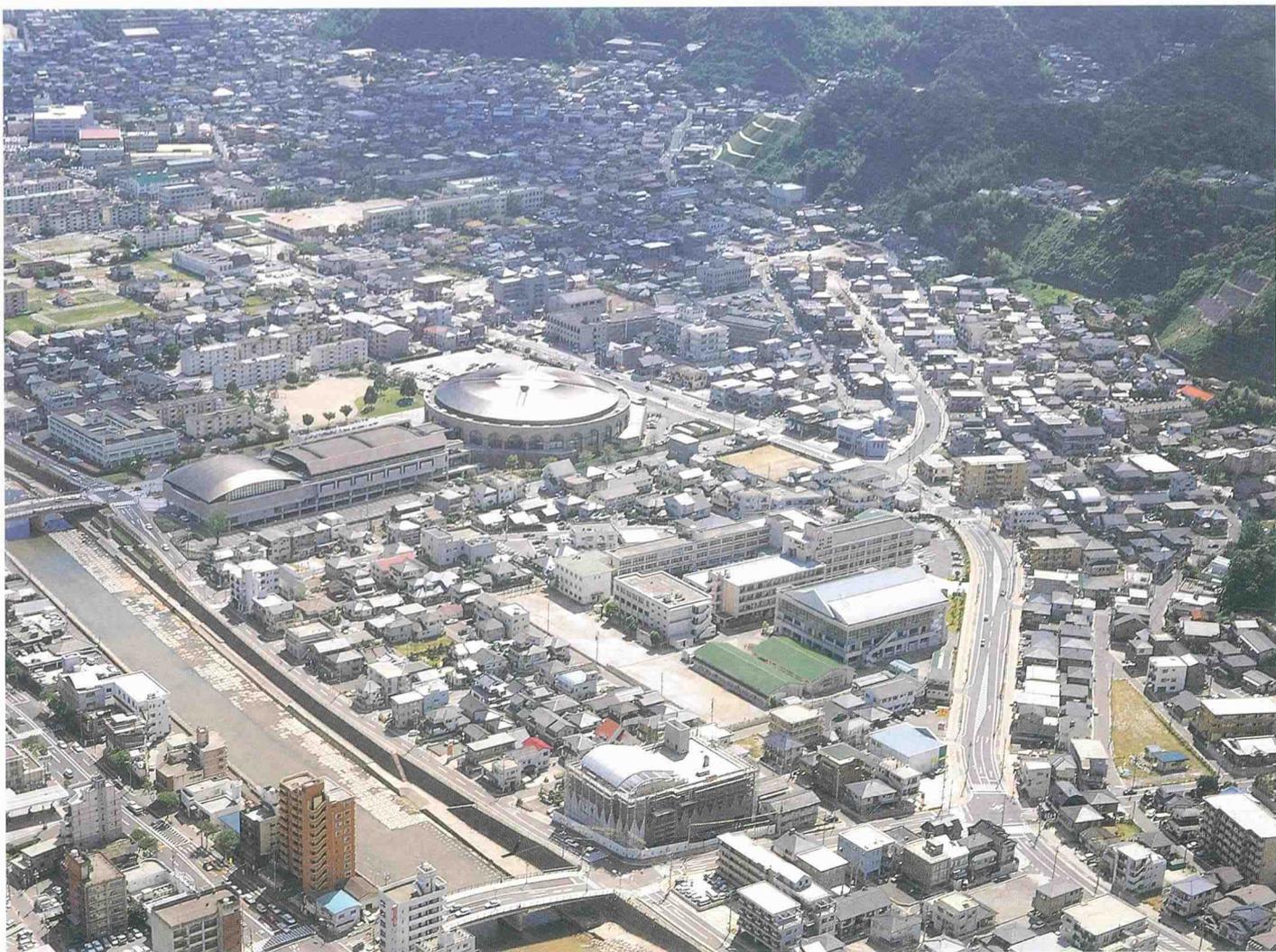
永吉上空から

写真中央に見える円形とそれに連なる長方形の建物。これは平成四年にオープンした鹿児島アリーナです。市民の皆さんにはイベントやコンサート会場としてのイメージが強いと思いますが、体力づくり・健康づくりの設備も充実しているんですよ。

写真手前、甲突川右岸で護国橋のもとに見える四階建ての建物は、四月一日オープンの西部保健センターと四月十日オープンのかこしま温泉健康プラザです。

西部保健センターのオープンにより、本市は二保健所・二保健センター体制となり、さらに充実した保健サービスを市民の皆さんに提供できるようになります。また、温泉健康プラザは、市民の自主的な健康づくりの場として活用してもらうための施設。鹿児島アリーナともども市民の皆さんのご利用をお待ちしています。(詳しくは本誌最終面「裏表紙」をご覧ください。)

新施設が仲間入りした水吉・原良地区。上地区西整理事業も進行中で、街の様子もどんどん変わっていきます。快適な住環境と手軽にスポーツが楽しめる施設。うまくバランスのとれたすばらしい街になるといえますね。



CONTENTS

- 「特集」十年の歩み…………… 3
- クローズアップ……………
- 島田俊秀さん…………… 12
- ハロ―鹿児島……………
- ミゲル・バスナス・ア・チタルさん…………… 14
- シティーアングル……………
- 色のあつまり…………… 15
- カメラトピックス…………… 16
- 学校探訪……………
- 桜丘東小学校…………… 18
- わたしの好きな場所……………
- 面高俊宏さん…………… 20
- ふるさとの歴史探訪……………
- 鹿児島の心に触れよう…………… 22
- あなたのフォトサロン……………
- 荷福博司さん…………… 24
- よかタイム……………
- 吉岡幸栄さん…………… 26
- かこしまの自然……………
- 丸岡・熊迫にて…………… 27
- 市民ギャラリー…………… 28
- 伊敷公民館……………
- 市立美術館…………… 30
- 静物……………
- 勤労青少年ホーム…………… 31
- 誌上市営施設見学会……………

● 表紙写真について

春の陽気に誘われて、午後のひととき散歩に出してみました。
鹿児島駅前まで来ると、先月完成したばかりのレインボーベルが輝いています。噴水の前で足を止め、鐘が奏でる春の曲を聴いていると、ワクワクと心楽しくなってきました。
美しい鐘の音色と噴水。このまま時間が止まってしまえばいいのにね。



元

2

3

4

5

7

6

9

8

10

鹿児島

十年の歩み

10 YEARS HISTORY

1989 ▶ 1998



井上 盛文さん
(坂元町)

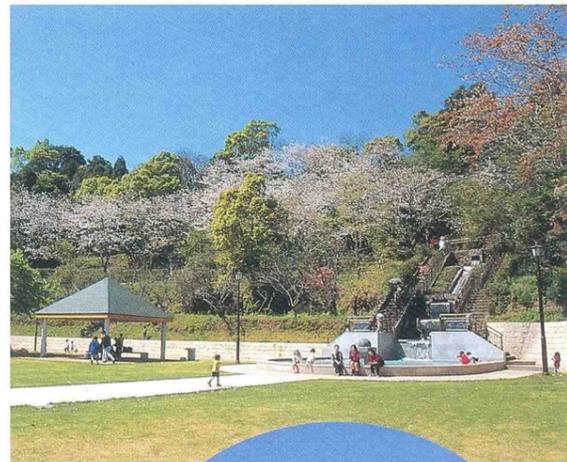
休みの過ごし方が変わった

10年前も、今も、同じ会社員。時間に制約があることには変わりありませんが、余暇時間の過ごし方は変わってきたなと思います。10年前もちょっとした運動はしていましたが、休みの日をただ何となく過ごすということも少なくありませんでした。現在、仕事が早く終わったときは、鹿児島アリーナのトレーニング室で汗を流しています。また、休みの日は家族一緒に健康の森公園などへ行き、バドミントンをしたり、一緒に走り回ったりしています。

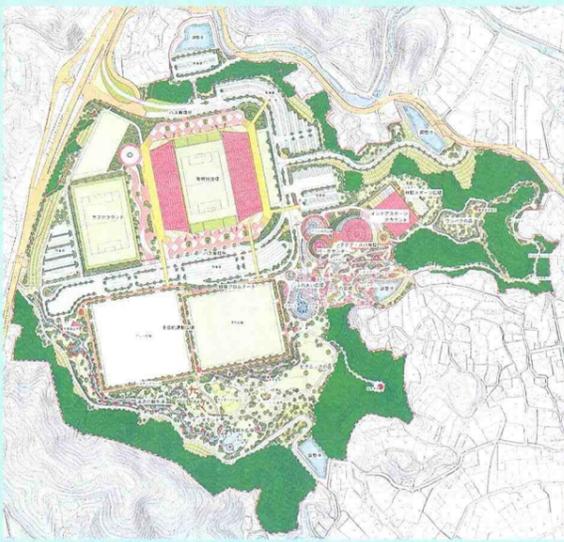
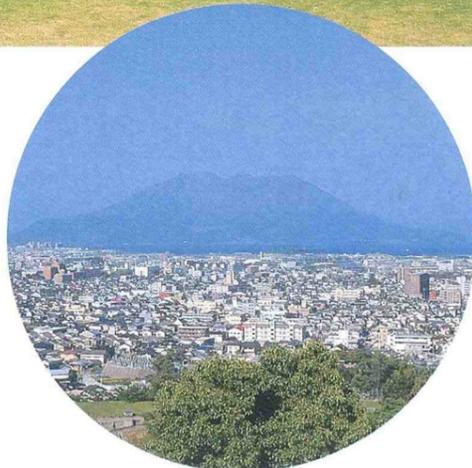
自分を含めてそうだと思うのですが、人間きっかけがあれば大きく変わります。私の場合は、何か運動をしたいと思っていました。そんなときにアリーナのトレーニング室のことを知ったのです。そのことで余暇時間の過ごし方が変わり、より充実した人生を送られるようになりました。これからも市民の生活が豊かになるような、施設やイベントなどを充実させてもらいたいと思います。

平成9年にリニューアルオープンした慈眼寺公園。市民が自然や季節を感じながらリラックスできるように、従来の公園施設や自然を生かしながら、現代風の公園に改修したものです。

約3kmの自然遊歩道を歩き、草木や野鳥を観察する。さくら広場や花の広場で季節を感じる。芝生広場で思いっきり走り回る。楽しみ方はいろいろです。



慈眼寺公園 桜の季節には花見の市民でにぎわう(上)
展望台からは市街地と桜島が一望に(右)



鹿児島ふれあいスポーツランド建設中

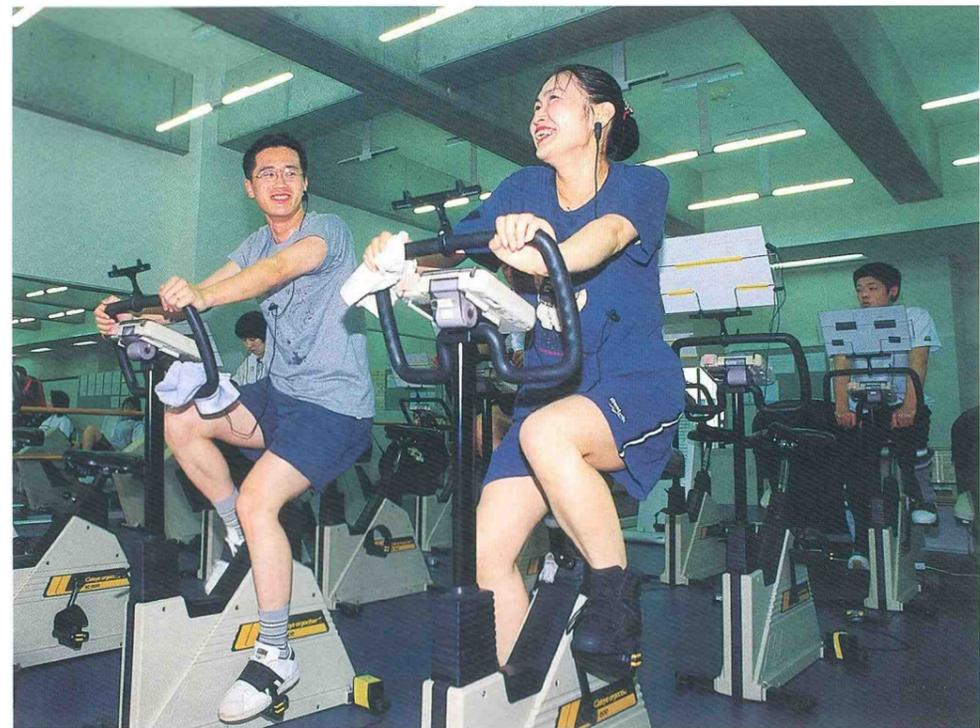
中山町に建設中の鹿児島ふれあいスポーツランドは、市民の健康づくりや生きがいづくりを支援するとともに、新しい交流・コミュニケーションが生まれる場となります。美しい自然の中で躍動するあなた。その姿をご想像ください。

主な施設

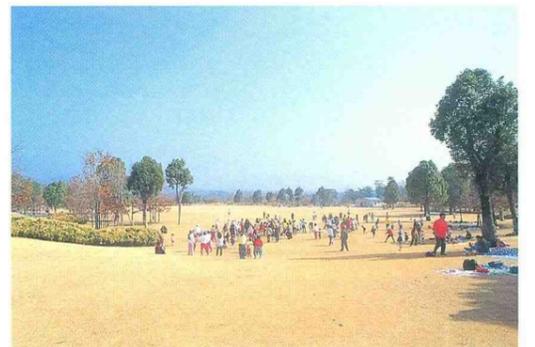
多目的運動広場(芝生広場、クレー広場)、アクア・スパ施設(25メートルプール、歩行浴プールほか)、インドアスポーツグラウンド、林間スポーツ広場、ピクニックの丘、ワンパクの森、溪流の森、パークセンター(交流プラザ)など



鹿児島の誇る温泉を利用した「かごしま温泉健康プラザ」(4月10日オープン)



鹿児島アリーナトレーニング室～有酸素運動や筋力トレーニングができる設備が充実しています。最近体力が落ちたなど感じたり、運動不足を痛感している人におすすめです。個人に合ったメニューをつくります。(同様の施設は、鴨池ドーム内にもあります。)



かごしま健康の森公園多目的広場(上)
屋外プール(右下)
カナル(左)

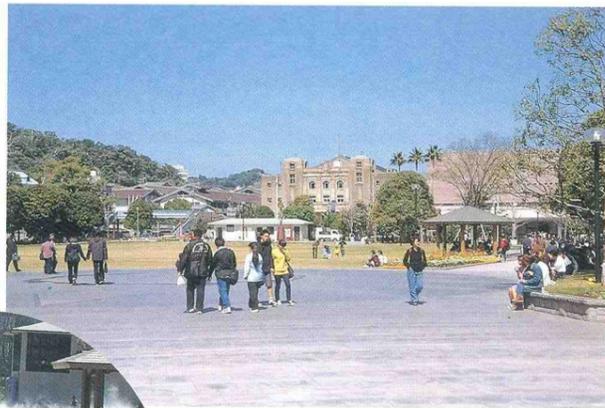
かごしま健康の森公園は、市民が気軽に健康づくりができるように、また家族や友人・知人とともに楽しく時を過ごすことができるようにとつくられた施設で、平成4年に開園しました。公園内には、多目的広場やわんぱく広場、テニスコートにプール(温泉・温水、夏期は屋外も)、そして体育館、さらにはジョギングコースや自然観察園などと、個人でもグループでも利用しやすいようになっています。

毎日の変化はごくわずかでも、ある日、大きく変わっていることに気づくことがあります。例えば、市内の大型公園やスポーツ施設。10年前にあったものといえば、県立吉野公園やオープンしたばかりの錦江湾公園、そして鴨池公園内にある陸上競技場に野球場、プールなどが思い出されます。ところで、現在、10年前の施設しかないとなると…。そう、この10年で、私たちのライフスタイルも変わったし、それにこたえるさまざまな施設ができ、また、数多くのイベントなどが開かれるようになりました。10年の歩み。その差は大きいですね。



仕事の後にスポーツで汗を流す。週末にはアウトドアでリフレッシュする。そんな市民が増えています。

健康づくり、体力づくりを楽しむ



昭和25年にできた中央公園は、うっそうとした緑に包まれた、ソフトボールやテニスコートのある公園として親しまれてきましたが、より多くの市民の皆さんに利用してもらえるようオープンスペースを広くとり、明るくモダンな公園として平成6年にリフレッシュオープンしました。市民の皆さんは、会話を楽しんだり、お弁当を広げたり、寝そべったり、走り回ったりと、本当に思い思いの使い方をしているようです。



地下には602台収容の駐車場がある



夜の街歩きも楽しい！高見馬場交差点にて



変わったといえば、街の風景がより明るく開放的になったと思いませんか。街角には、数多くの草花が植えられ、ミニ噴水があります。また、道路がカラー舗装されたり、電線類が地中化されたところもあります。そして、夜の街並みも、街路灯の設置や建物などのライトアップによりぐっと魅力あるものになっています。こうしたことは、やはりこの10年のできごとなのです。ゆとりや楽しみ、そういう気持ちを持って街を見回してみませんか。

楽しめる都市景観やゆとりのある市街地空間が増えてきた。街を歩いてみよう。

十年の歩み・市電は変わった! ? それとも...

70年あまりの歴史がある市電。その市電の歴史の中で、この10年ほどの間には次のような変化がありました。その一つは、平成元年に新形電車を導入したことです。この時なんと26年ぶりの新車購入だったのです。その後も積極的に新形車両の導入や在来車両の改良を行い、利用者の皆さんに喜ばれています。もう一つの大きな変化は、架線のセンターポール化です。クモの巣状の架線がセンターポール化され、すっきりとした街並みになるとともに、夜間の連続照明により、夜の景観の魅力や安全性も向上しました。

一方、変わらぬ良さもあります。定時性・安全性はいうまでもないことですが、なんといっても、平成2年6月以来、料金が大人160円から変わっていないところです。どこまで乗っても160円。できるだけ長く変わらないでいたいものです。



最新形の車両には水族館の人気キャラクターイルカのマークが



センターポールで夜の街も明るく



金生町バス停

快適で、潤いに満ちた街並みは、市民の心を楽しく、また、優しくします。歩行者の多い交差点や街角には、花壇やミニ噴水が数多く設置されています。

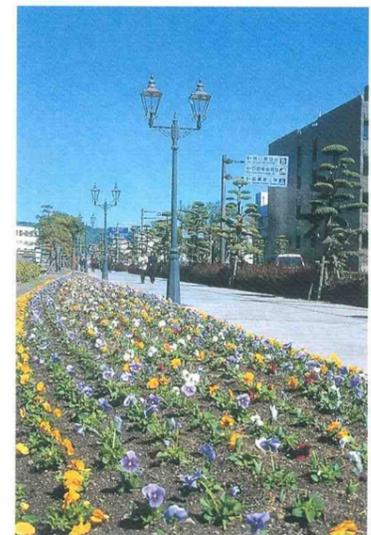
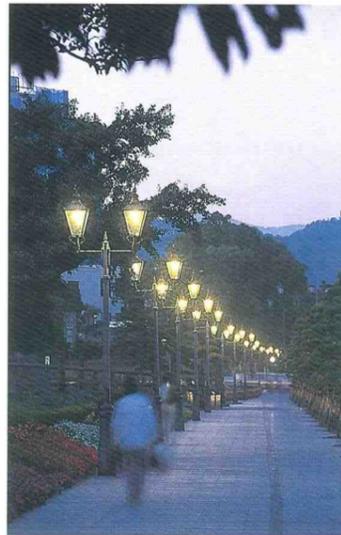


いづろ交差点



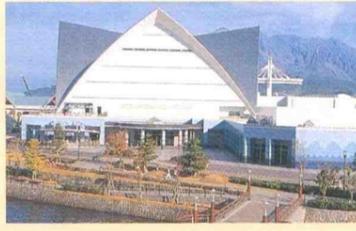
市役所前のみなど大通り公園は、市街地にある快適な、さまざまなイベントができるオープンスペースとして電球によるイルミネーションは、冬の風物詩としてすっ

くつろぎのスポットとして人気があるとともて広く活用されています。また、約9万個のかり定着しました。



城山のふもと、西郷銅像や市立美術館、そして鶴丸城跡などが並ぶ国道10号の一角は、歴史と文化の道として、電線類の地中化とともに、石張りの歩道、親水水路、ガス灯の整備を行い、落ち着いた街並みになっています。

鹿児島市10年の歴史

年次	主な出来事	年次	主な出来事
平成元年 4月 6月	<ul style="list-style-type: none"> 市制施行100周年 「歴史と文化の道」にガス灯点灯 	平成6年 1月 2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護支援システム稼働 市高齢者保健福祉計画(21輝きプラン)策定 カゴシマシティビュー運行開始 
10月	<ul style="list-style-type: none"> NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」鹿児島ロケ始まる 	4月 6月 9月 10月 7年 7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> 中央公園リフレッシュオープン 維新ふるさと館オープン 南洲門前通り完成 ふれあい長寿社会宣言 かごしま市女性プラン策定 第10回海の祭典 24時間対応巡回型ホームヘルパー派遣事業開始 平和を願う市民のつどい(戦後50年) 障害者福祉施策に関する新長期計画策定 全国で最初の中核市に移行 高齢者福祉センター与次郎オープン 西鹿児島駅新駅舎完成 
2年 1月 2月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 谷山サザンホール開館 「翔ぶが如く」放映開始 鹿児島市平和都市宣言 マイアミ市と姉妹都市盟約 市立図書館・市立科学館開館 	8年 2月 4月 6月	<ul style="list-style-type: none"> 慈眼寺公園リニューアルオープン ふるさと考古歴史館オープン かごしま世界帆船まつり かごしま水族館オープン 
3年 3月 5月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回建築文化賞授賞式 第1回棕鳩十児童文学賞授賞式 第40回おはら祭 	9年 4月 5月	<ul style="list-style-type: none"> 吉野支所業務開始 資源化センター稼働(缶とびんの分別収集開始) かごしま近代文学館 かごしまメルヘン館オープン 第1回渋谷・鹿児島おはら祭 市電誕生70年 市消防発足50年 アジア活火山サミット 甲突川河川改修に伴う橋の架け替えが進む(22橋中20橋完成)
4年 4月 7月	<ul style="list-style-type: none"> かごしま健康の森公園開園 今給黎教子さんヨット単独無寄港世界一周を達成 みなと大通り公園完成 鹿児島アリーナオープン 第1回福祉ふれあいフェスティバル開催 	10年 1月	
5年 1月 2月 6月 8月	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開制度スタート 第1回生涯学習フェスティバル 心をつなぐ訪問給食事業スタート 8・6豪雨災害 	4月 7月 8月 11月 11年 3月	

十年の歩み〜市長に聞く〜



赤崎義則鹿児島市長

十年前の記憶といえば何ですか。

元号が昭和から平成に変わり、また、鹿児島市が市制施行百周年という歴史的節目を迎えた年で、大変印象深く思っています。当時の鹿児島市は、県都として、また南九州の中核都市として順調な発展を遂げていましたが、これから先は都市としての機能性をさらに高めながらも、市民が生活の中でゆとりや豊かさといったものを実感できるようになまちづくりが必要ではないかと思っていました。

その後の十年の歩みはどうか。

この十年、数多くの施設が完成し、そこで行われる事業やイベント等も充実してきました。世の中が変わり、市民の皆さんのニーズが多様化する中で、それに対応する基盤は大方整備されてきたと思います。そして、市民の皆さんがこのような施設を生き生きと、そして楽しそうに利用されている姿を見ると、大変うれしく思います。

これからの十年はとなると予想しますか。

情報が伝わるのが速くなり、鹿児島と世界の距離がますます縮まる。そして、鹿児島から世界に羽ばたく人もさらに多くなるのではと思っています。また、高齢者の方が増えることに伴い、身近なコミュニケーションの重要性が高まり、鹿児島の人々の温かい心といったものが地域の中で求められる。そんな時代になるのではないかと考えています。鹿児島らしさを生かし、市民の皆さんにとっても、鹿児島を訪れる人にとっても魅力的な都市。こんな鹿児島市を皆さんと一緒につくりたいと思います。



地域の中でのふれあいがより大切になります。



南国の風土が市民の温かい心を育む



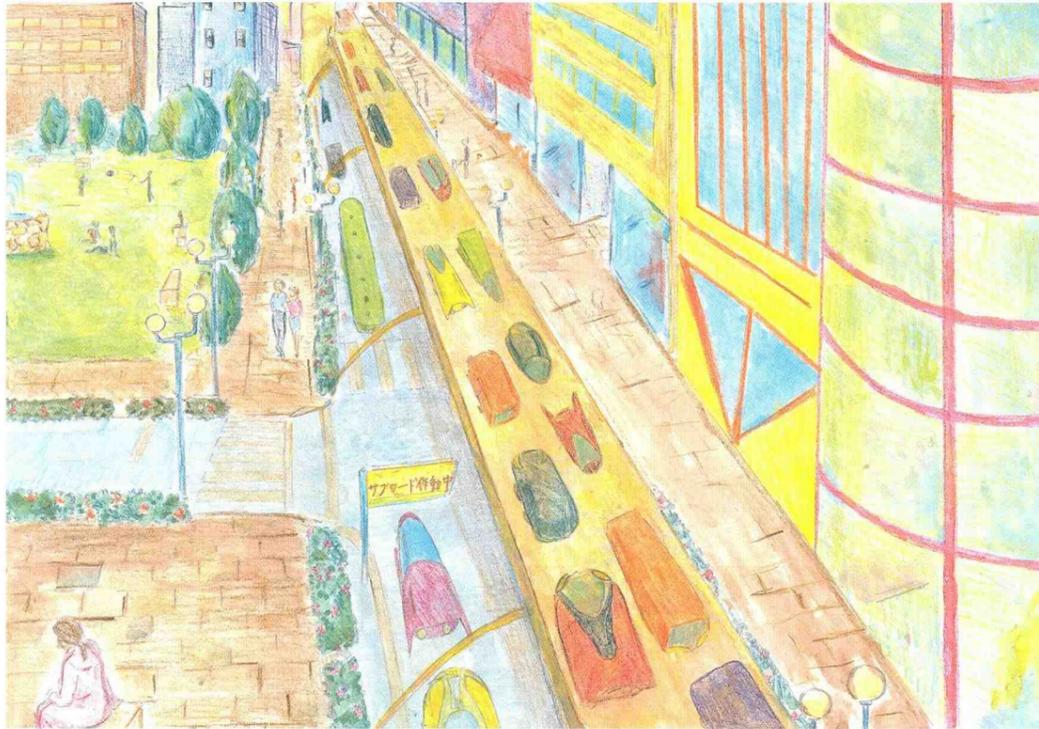
健康で充実した日々を送る

●にぎわいと安らぎのある街●



(吉野町) 田中聡美さん

私の会社は天文館地区にあるので、その十年後をイメージして描きました。十年後ですと通信機器や車などは今よりずっと進んでいて、便利な世の中になっていると思います。でも人間くつろげる時間や空間が必要なもの。今の中央公園には満足ですが、あのように花や緑に満たされた公園がこちらにあり、仕事やショッピングの途中でゆつくりできたらいいと思います。

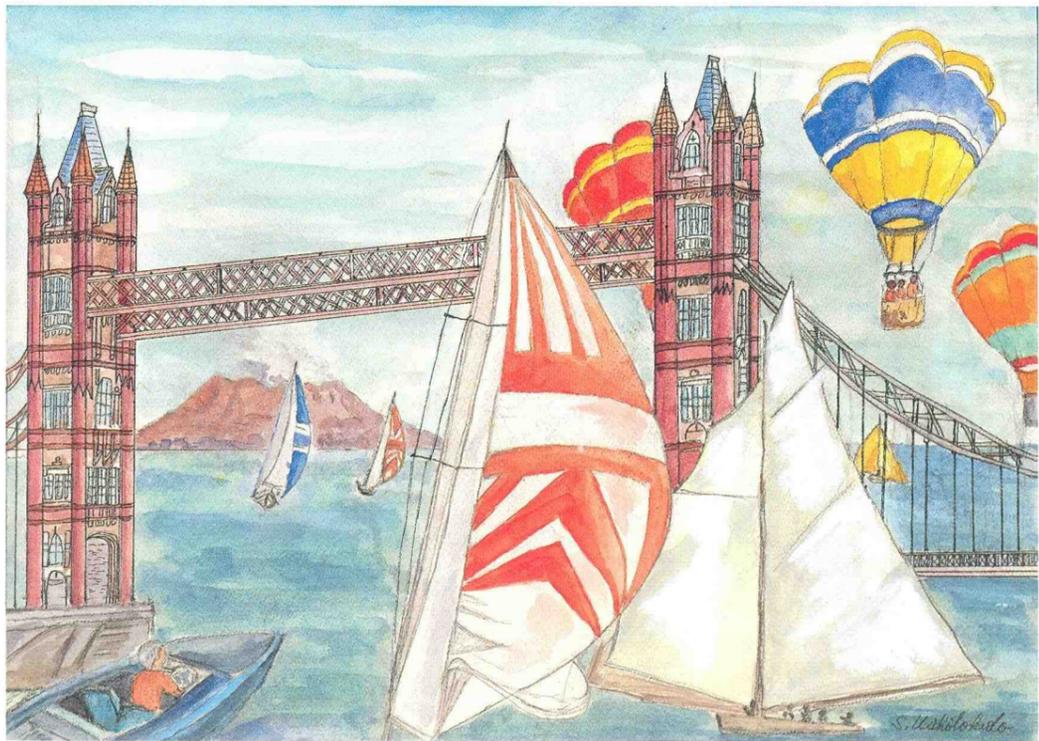


●海を生かした国際観光都市●



(皇徳寺台五丁目) 後門純憲さん

谷山市民会館の自主学習グループ「金曜会」で水彩画を勉強しています。私は、雄大な校島と美しい錦江湾を生かした鹿児島の未来像を描きました。平川ヨットハーバーにヨーロッパ風のタワー橋ができ、東洋一のリゾート地・観光地となることを夢見しています。



時代の変化のスピードが増した昨今、将来を予測するのはなかなか難しいもの。でも目標を立て、それに向かって努力することは大切です。あなたの十年後、何が見えますか。

10年後の鹿児島は…

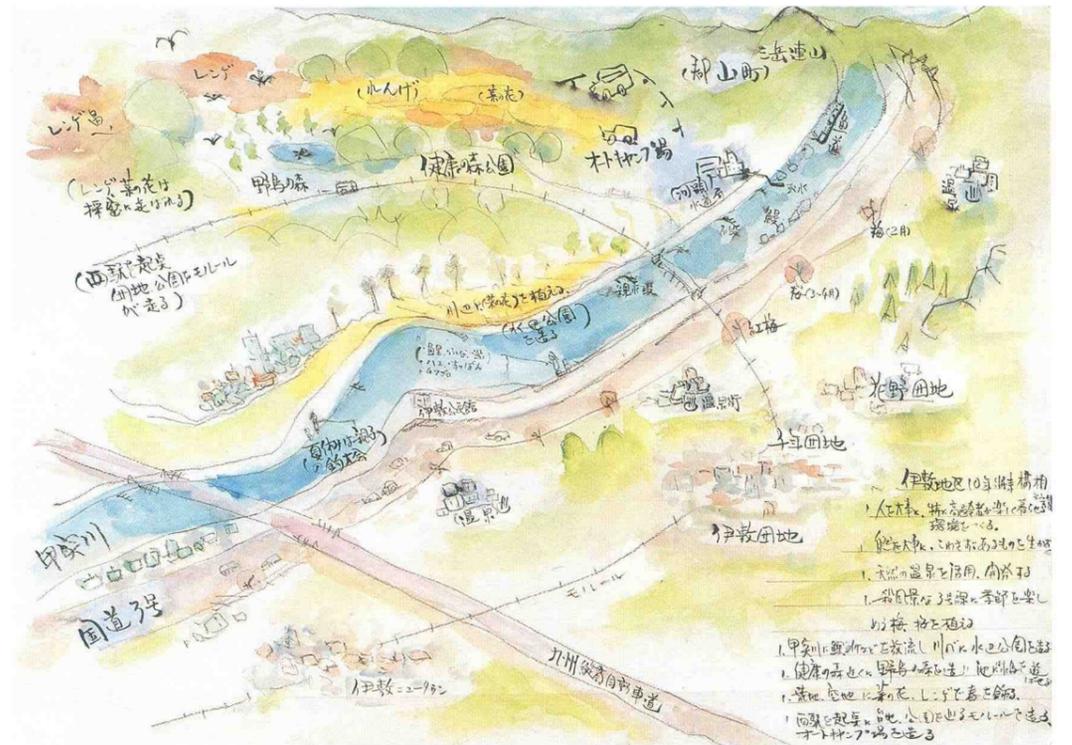
4人の方に「10年後の鹿児島」というテーマで描いていただきました。

●自然を生かした憩える街●



(冷水町) 稲留 寛さん

伊敷公民館の自主学習グループ「ひまわり」(油絵の仲間)と一緒に、十年後の伊敷地区をイメージしてみました。伊敷地区は、市内でも自然に恵まれた環境にあるので、それを生かして市民が憩える街になればいいと思います。



●太陽と緑いっぱいのまち●



(武岡台小学校6年) 加治 学さん

十年後の鹿児島は、緑がいっぱいで、海がきれいで、みんなが楽しく住めるまちだと思います。校島とは橋で結ばれ、錦江湾にはイルカが泳ぎ、甲突川にはつり橋があるといいなと思います。それから、与次郎ヶ浜にはドーム球場があると思います。これから一生懸命勉強をして、十年後はりつぱなまちになりたいと思います。



CLOSE UP

クローズアップ

学生たちと出会えて、本当によかった——
そこには、教育者としての素直な喜びとともに
さらに広まる輝きへの、確かな手ごたえがあるのだ



放送大学鹿児島学習センター
所長 島田 俊秀 さん

PROFILE

昭和7年 鹿児島県沖永良部の和泊町生まれ
昭和30年 鹿児島大学文理学部文学科卒業
昭和35年 九州大学大学院文学研究科修士課程修了
昭和48年から鹿児島大学に勤務
平成10年3月 鹿児島大学教育学部長を退官、文学博士、名誉教授。同年10月放送大学鹿児島学習センターが山下町の旧県庁舎6階部分に開所、所長に就任。第1期生は19歳から81歳までの523人。この4月には、新たに641人もの第2期生が入学。

土曜日の朝、静寂に包まれた廊下。突き当たりの扉を開けた途端、中の熱気に圧倒された。教室いっぱい肩を並べるおよそ百人の学生は、一見して幅広い年代の方々。その目の輝きを一つに引きつけているのは、放送大学鹿児島学習センター所長の島田さん。放送大学の心理学の教授でもある。

放送大学は、テレビやラジオなどで授業を行う通信制の大学。自宅に居ながらマイペースで授業を受けることができる。「学びたい！それが入学資格です」をキャッチフレーズに、入学試験はなく、春と秋の年二回、入学の扉を開いている。まさに、入学は易く、努力し続けた者が卒業できるシステム。大学教育の機会を多くの人々に提供しているのだ。

今日は、放送の一方通行型教育を解消するために、教室で授業を行っている。専門の心理学の講義——「観察するところが大事なんです。例えば、ボールに飛びつく華やかな選手、片や周囲の状況を観察し、ボールの飛んでくる位置にいる選手。一見派手なプレーをする選手は人気があるが、さて実力のほどは？」

島田さんの授業では、教授と学生が共に観察し合う。メリハリの効いた講義は、すっかり学生の心を包み込み、教室一体となった気持ちのいい空気が流れる。

「先生の授業が受講できてとっても楽しい、ありがとう。——無理し過ぎないようにしてくださいね。」

島田さんの気さくな人柄に、自然と学生が集まる。学ぶ喜び、それにこたえる喜び、真つすぐ心に響き合う。

島田さんは、これまで三十八年間大学教育に携わってきたが、この学生にはとにかく頭の下がる思いがするという。

「意欲があるんです。他の大学と違って、出席も取らなければ、日ごろ勉強しているところをだれかが見ていくわけでもない。自発的な向学心、粘り強い意志があるんですね。」と感心する言葉は尽きない。

入学の動機も人それぞれ。資格を取る、専門知識を深める、趣味や教養を広げる、生きがいを持つ、人の役に立つため…。各自の人生経験や日常生活に応じて

さらなる知識を求め、しっかりとした目的意識を持っているのだ。

そもそも、島田さんは、一、二点の違いが入学資格・学習機会の有無につながることに矛盾を感じていた。

「いい成績で入学した者でも、途中でリタイアすることもあるし、素晴らしい学力での卒業が、必ずしも現場でいい結果を生むとは限らない。特に、

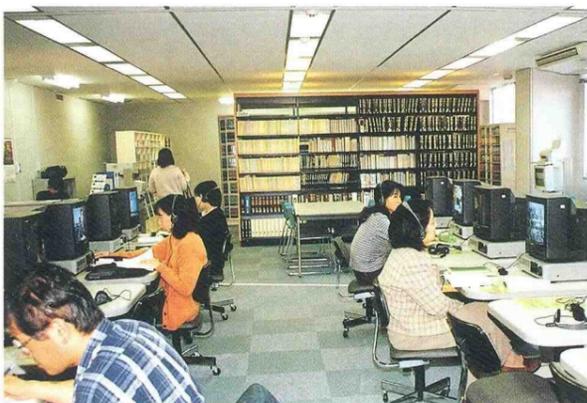
今日の価値観が多様化した時代においては、個人の特徴を学力という限られた面からだけで見れば、多くの選択肢を誤ってしまう。」と不安を抱く。そして、

「個人の優れた面を枯渇させることなく、特徴を最大限に生かしてこそ、個人にとっても、社会にとっても幸福で幅広い文化を造り上げていくことになる。」と断言する。

そのためには、個性を尊重する社会や人生観を築き上げていく必要がある、教育の果たす役割は大きい。新たな時代への教育を担う一人として、島田所長は当面の目標を語った。

「まずは、すべての人にこの大学の

理念を伝えていきたい。そして、学習の効率が上がるように環境づくりに力を入れたいですね。」
そんな島田さんの情熱をわき立たせ、大きな支えとなっているのは、この一言に込められている。
「教師生活の最後に、こういう学生たちと出会えて、本当によかった。」
そこには、教育者としての素直な喜びとともに、学生たちの輝きが、さらに周囲へと広がっていく確かな手ごたえがあるのだ。



放送済みの授業テープが視聴できる学習室
～復習などに利用されている



ミゲル・バスケス・アーチ戴尔さん
(スペイン)

Miguel Vazquez Archdale

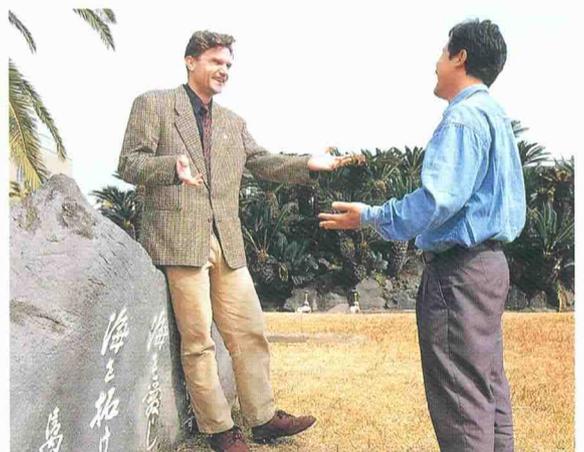
ハロー
鹿見島

鹿児島大学の水産学部で漁業基礎工学

の講師をしている、ミゲル・バスケス・アーチ戴尔さん。彼は、母国スペインや中米のコスタリカで養殖の研究をしていましたが、クルマエビの養殖について学ぶため、十年ほど前に鹿児島に来ました。

「青い海と緑の山々に囲まれた鹿児島は、私の故郷とは対照的です」と話すミゲルさん。彼の故郷は、スペインの首都マドリッド。人口三百万人あまりの大都市です。国のほぼ中央に位置する街なので、周りに海がありません。また空気が乾燥していて、風景が黄色がかった見えるそうです。

ところで、今年にはフランシスコ・ザビエルが日本に上陸して四百五十年。ミゲルさんは、これを記念して発足した「鹿児島スペイン協会」の理事も務めています。「鹿児島ではとても有名なザビエルも、スベ



ジェスチャーを交えながら、友人と談笑するミゲルさん

ンではあまり知られていません。これを機会に、お互いの交流と理解をさらに深めたい。そして自分がその橋渡しの一役を担いたい」と強い熱意をもって取り組んでいます。

休日は友人と海までドライブ。市内の景観が一望できる城山にも散歩に出かけます。また、鹿児島の食べ物も大好きで、キビナゴをパンにはさんでスペイン風にアレンジするなど、すっかり鹿児島の生活を楽しんでいる様子。年に一回、故郷のスペインに帰国しますが、すぐに鹿児島が恋しくなるそうです。

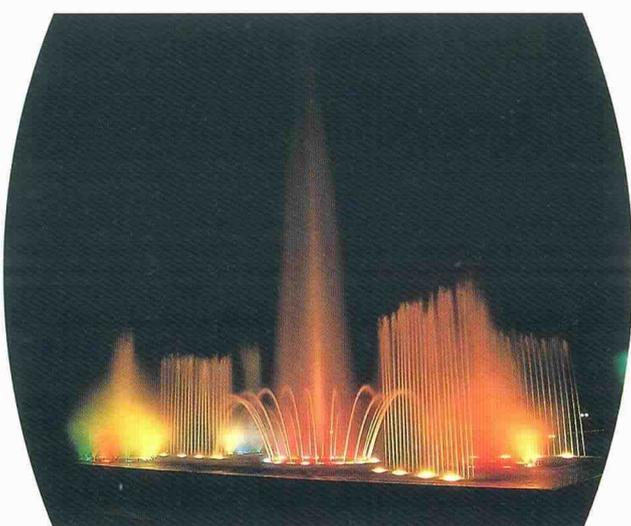
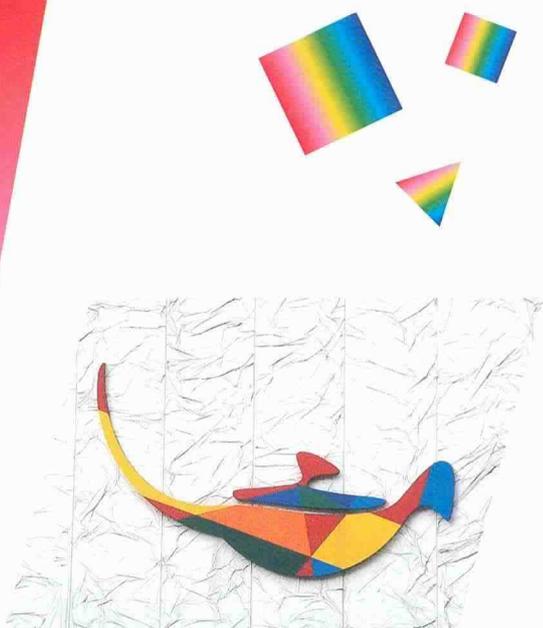
黒潮がはぐくむ豊かな研究材料と、穏やかな生活。そして、温かい友人たち。ずっとここで暮らしたいと思っているミゲルさんにとって、鹿児島は第二の故郷になったようです。

シティー CITY
ANGLE アングル



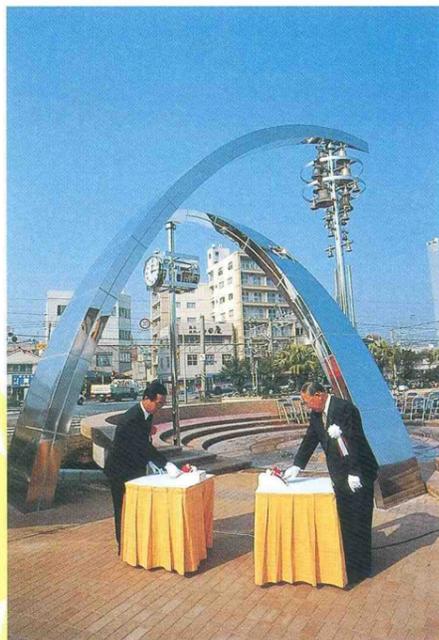
胸踊る春...。あなたの春はどんな色？

色 の あ つ ま り



3月6日 レインボーベル完成

街の新しいシンボル、レインボーベルが鹿児島駅前完成しました。毎日8時から19時まで1時間ごとに音楽が奏でられ、同時に噴水も出ます。皆さんも鐘と噴水が作り出すファンタジーいっぱいの世界をお楽しみください。



「肥田橋」「天保山橋」「甲突橋」が完成

甲突川の河川改修に伴って架け替え工事が進められていた「肥田橋」「天保山橋」「甲突橋」の3橋がこのほど完成しました。新しく生まれ変わった橋は、旧橋の面影を引き継いだものや近代的センスを強調したものなどさまざまですが、どの橋も、地域の人々の暮らしを豊かにしてくれるものと期待されています。

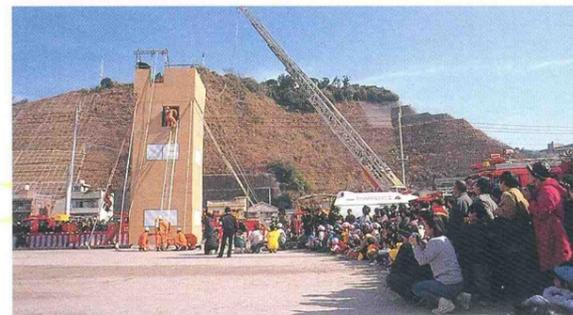


天保山橋

カメラトピックス
TOPICS CAMERA

1月6日 消防出初式

新春恒例の消防出初式が、城西二丁目の鹿児島実業高校跡地でありました。今年の出初式では、3階建ての建物から出火、6人が逃げ遅れたとの想定で訓練を実施。はしごやロープなどを使い見事に救出していくレスキュー隊の機敏な動きに、集まった市民から拍手がわき上がっていました。



1月14日～17日 '99かごしま国際インポートフェア

市内の卸・小売業者の新たな事業展開を支援するとともに、市民の皆さんに外国製品への理解や関心を深めてもらうために、'99かごしま国際インポートフェアが開かれました。79の輸入業者などが出店し、世界各地のアクセサリーや調度品、衣類、食品などバラエティーに富んだ商品が紹介されていました。

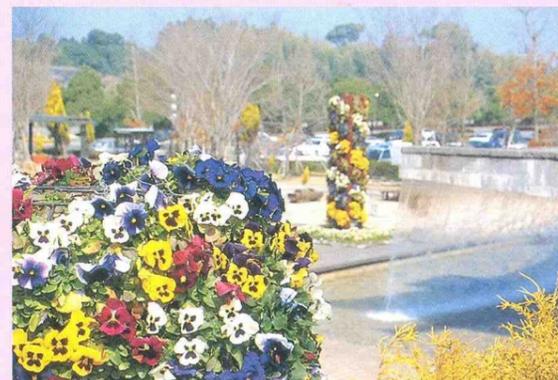
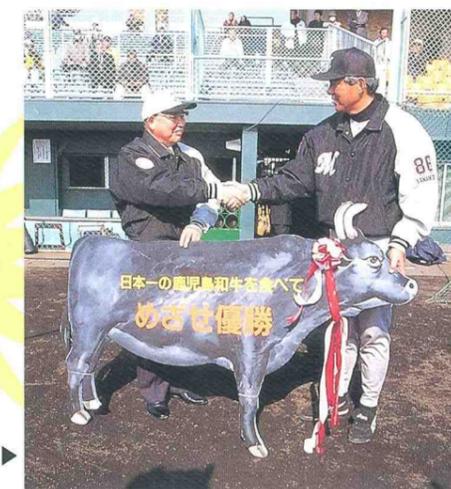


サッカーリーグ&プロ野球 鹿児島キャンプ

温暖の地鹿児島に、今年もサッカーリーグとプロ野球のチームが春季キャンプにやってきました。リーグはジュビロ磐田（1月24日～2月7日）と柏レイソル（2月12日～20日）、プロ野球はおなじみの千葉ロッテマリーンズ（2月1日～3月1日）です。各チームとも開幕に向けて熱の入った練習をしていました。



ジュビロ磐田歓迎式
千葉ロッテマリーンズを市長が激励



3月上旬 かごしま健康の森公園



2月中旬 紫原



3月上旬 都市農業センター



3月中旬 慈眼寺公園

2月22日 平成11年度鹿児島市当初予算(案)記者発表

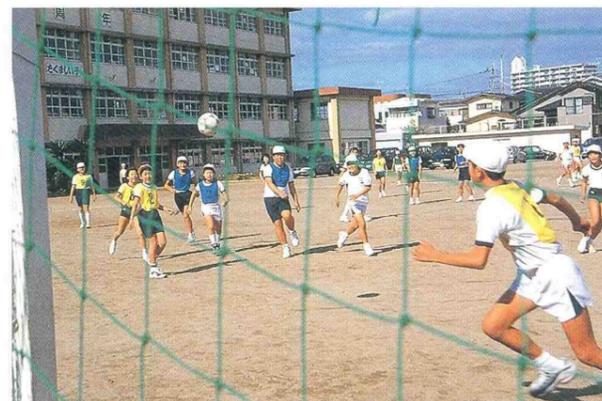
平成11年度鹿児島市一般会計当初予算(案)の総額は1939億6946万9千円で、前年度当初予算に比べて1.8%の伸び。歳入・歳出のバランスをとり健全財政を維持しながら、福祉や環境対策、都市基盤整備などに配慮した内容となっています。



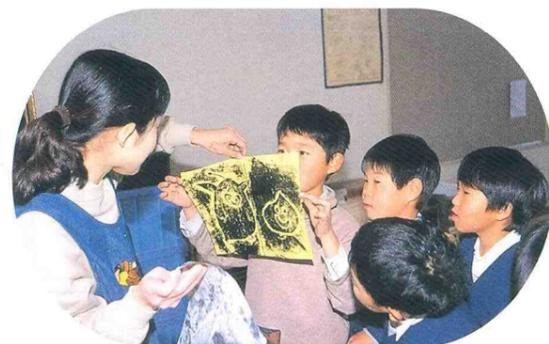
あしたは青空、いのち輝く学校 桜丘東!



複数の学年で、先生もいっしょに～朝のふれあいタイム



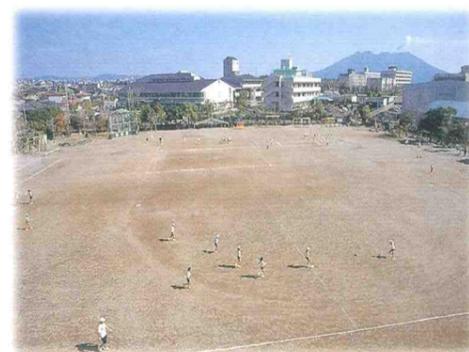
「入れっ!」



「先生ー」～図工室で



60分授業のチャレンジタイム



広い校庭の向こうには桜島!



体育館でのバイキング給食



「三匹の子豚」セリフ付です



- 創立 昭和57年
- 児童数 617人
(平成11年3月1日現在)



桜丘東小学校



春の花々が目をひく校内

あいつが自慢の桜丘東小学校
六年 永濱 由翔

わたしたちの桜丘東小学校は、小高い丘の上にあります。錦江湾に浮かぶ桜島が美しく見えます。また、春には、となりの大病院の桜がとてもきれいです。

わたしたちの学校自慢は、「あいつ」です。児童会を中心にして、みんなであいつ運動に取り組んでいます。朝を元気のよいあいつでむかえると、とても気持ちよく学校生活が送れます。これからも、もっとあいつの輪を広げていこうとはりきっています。

今年、「緑いっぱい」の学校にしよう!というめあてを立てて、活動してきました。各学級で、学級園の手入れをがんばったり、新しい木を増やすために、グリーンマーク収集に取り組んだり、緑にかまされた美しい学校になるように、みんなで協力しています。大切に育てた花が咲くのがとても楽しみです。

わたしたちの桜丘東小学校は、創立十八周年とまだまだ歴史の浅い学校ですが、「やる気」「思いやり」「たくましさ」の三つの目標を大切にしながら、これからもみんなで助け合い、励まし合って学習していきたいと思っています。

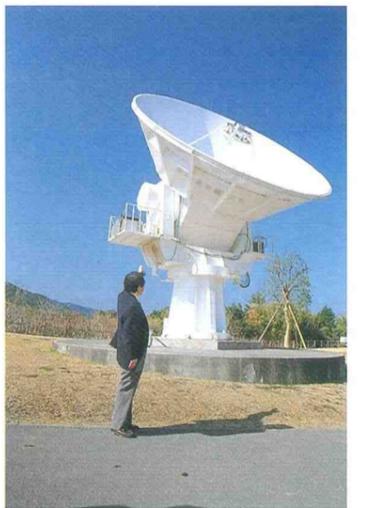
私の好きな場所



鹿児島大学理学部宇宙コース
教授 面高 俊宏さん

宇宙の謎に迫る 第一の鍵は好奇心！

錦江湾公園



これが電波望遠鏡です。

私の好きな場所は、宇宙の香りがする錦江湾公園です。電波望遠鏡に宇宙学習室、H2ロケット、ロケットM型の遊具など。こんなに宇宙を身近に感じさせるユニークな公園は、全国でもそうないんじゃないでしょうか。

国立天文台や宇宙開発事業団の人たちをこの公園に案内すると、皆喜んでくれますね。鹿児島市が宇宙先進地だというイメージが定着していますが、この存在は大きいと思います。

公園の中では、電波望遠鏡の周辺が好きなんです。実は、この電波望遠鏡は私の仕事場の一つでもあるんですが、青い空に白い電波望遠鏡、桜島と市街地が一望できる、素晴らしい眺めなんです。

早いもので、電波望遠鏡がこの場所に設置されてもう五年になります。それまでは、県外まで行かなければ観測できなかったものが、自分たちのすぐ通える場所である。自分で実際に観測したほうが勉強になるので、私をはじめ学生たちも本当に喜んでいました。

大好きな場所がもう一つ。バラ園です。何十種類ものバラが色とりどりに咲き誇るなかに散策すると、華やかだ気分になって、良いリフレッシュになりますね。園内には梅や桜の木もたくさんあり、四季の花々が楽しめるのも、この公園を気に入っている理由の一つなんです。

荒田二丁目付近

これからも公園の素晴らしい環境の中で、学生たちと観測を続けていきたいですね。



ここのソフトクリームが好きなんです。



▲梅林もいいですね。～錦江湾公園にて

この周りは「どんぐり横丁」と呼ばれる界限です。大学のすぐ近くで、飲食店がたくさん並んでいるんです。この独特の温かい雰囲気が好きですね。

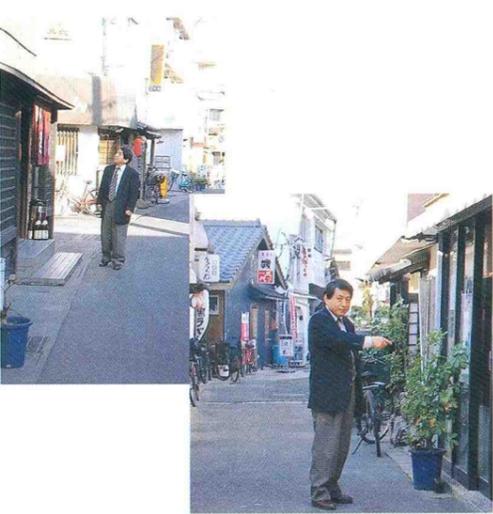
ここは私にとっては「討論の場」なんです。私は基本的に人と関わりを持つのが好きで、特に語り合うことは、大好きですし、大事にしています。

ここでの会話や討論が、新しい考えを与えてくれることがよくあるんです。

学生ともよく来るんですよ。一緒に過ごす時間のなかで、これからの時代を切り開いていかなければならない彼らに、頑張ってもらいたいという思いが強くなつていくのを感じます。

どんな状況でも、考え方一つで楽しむことができるということ、自分らしさを生かすことなど、私が大切に思っていることを彼らにもっと伝えられたらいいですね。直接は言いませんが、普段の姿勢や会話にそんな思いを込めているんです。

また今夜あたり、ここで学生諸君と一緒に、焼酎でもくみかわしましょうか。



▲今日はどの店にしようかな。～どんぐり横丁にて

【取材メモ】

面高さんは鹿児島市の出身。名古屋大学・大学院に進学し、東京の大学で勤務された後、十六年前から鹿児島大学で教鞭をとられています。

これまで、電波望遠鏡の誘致を始めとして、一昨年の宇宙コースの開設、今春からの宇宙開発事業団職員への講師招致など、さまざまな計画を実現してこられました。

人類初の宇宙飛行に成功したガガーリンに憧れた宇宙研究者の道に進まれたという面高さん。明日はもっと変わった

ことをしてみよう、自分にしかできない工夫はないかといつも考えています」と話される様子から、前向きなエネルギーがあふれてくるのが感じられます。

現在、全国規模の研究が進められているとのこと、全国を飛び回る日々を過ごされています。宇宙の未知なる物質の探究にむけて、ますますのご活躍が期待されます。

和町在住。五十一歳。



ふるさとの歴史探訪

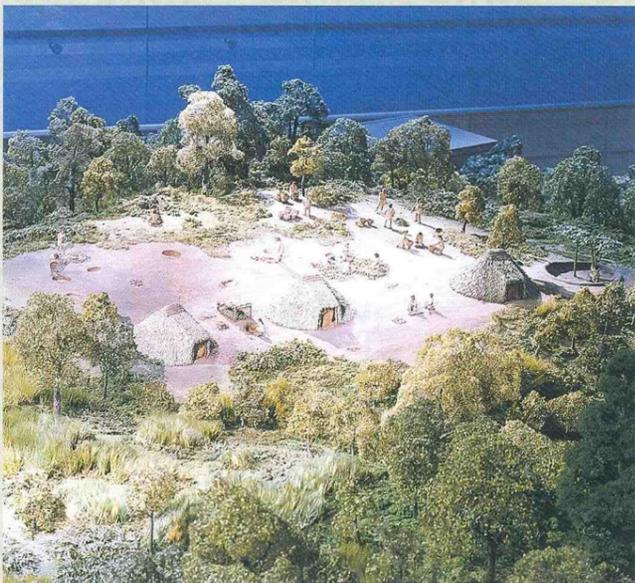
鹿児島島の心に触れよう

皆さんは、鹿児島島の歴史という何を思い浮かべられるだろうか。関ヶ原の戦いの敵中突破や明治維新を成し遂げた西郷さん、大久保さんなど「武の国」のイメージが強いのではなからうか。

では、歴史の実像はどうか。その実像に迫り得るのが、鹿児島市が誇る二つの施設、ふるさと考古歴史館と維新ふるさと館である。

今号では両施設を通して、鹿児島島の先人たちが、この郷土の大地で懸命に生き抜き、また、喜びや悲しみを分かち合った姿を追っていった。その後ろ姿から浮かび上がってくるものこそ、まさに鹿児島島の原形、心。とにかく、この心に幾ばくかでも触れ、豊かな過去との対話の時間を持つていただければと思う。

鹿児島島の心に触れよう



掃除山遺跡復元模型

ふるさと考古歴史館 TEL 266-0696



維新体感ホール

維新ふるさと館 TEL 239-7700

縄文が示す鹿児島島の可能性

ふるさと考古歴史館の目玉は、掃除山遺跡の模型。約十メートル四方の大規模ジオラマで、約一万一千数百年前の縄文の暮らしを再現している。

掃除山遺跡は国内でも縄文初期の暮らしが分かる貴重な遺跡。そこから発見されたのが肉のくんせい炉。また、カシの実を原料にしたクッキーの存在も推測されている。意外にも縄文の食卓はバラエティーに富んでいたことがうかがえる。

日本人の主食は米という概念が定着した現在、稲作・田園は日本の心といわれる。しかし、日本には稲作に適さない地域も多かった。シラス台地の鹿児島ももちろん。米にこだわつての飢饉による犠牲者も多く出した。米により日本は一つになったが、その全体

薩摩の女性たち

明治維新の薩摩の英傑たちは数え上げてみると全て男性。女性の名前は挙がっていない。しかし、無名の多くの女性たちが、革命に立ち上がる薩摩の息子や亭主を支えていた。薩摩おこじよの存在なしには、当時の薩摩も、明治維新も、ひいては現在の日本もなかったであろう。

薩摩の女性としてまず紹介したいのが、賢章院。幕末の名君島津斉彬のお母さん。当時、乳母まかせの育児が普通だった大名家には珍しく、自ら母乳で斉彬を育てた。また、幼年期にはいろいろな本を自ら手に取って読んで聞かせている。

このように薩摩においては、母の権威は別格であった。西郷、大久保と聞くと連想する公平・勇気・やさしさなどの資質は、皆彼らの母親によって造り上げられたものなのである。

二番目に紹介したいのが、丹下梅子。アメリカの大学で日本女性初の理学博士の称号を受け、世界の舞台で明治、大正、昭和の三時代を学問一筋に生き抜いた化学者。梅子の活躍は郷里鹿児島を離れてのもの



幕末当時の加木屋町の暮らし (維新ふるさと館)

指向のため多くの可能性を失ってしまった。掃除山遺跡は、鹿児島が元々独自に持っていた地域の可能性と豊かさを感じさせてくれる。鹿児島特有の自然の豊かさも厳しさも受け止めて、その中から自分に合ったライフスタイルを選んでいく。

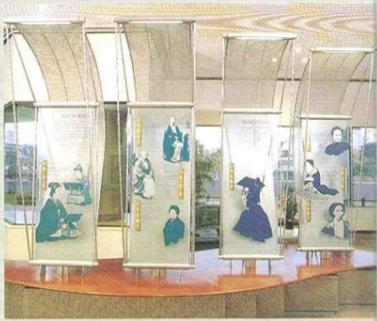
縄文が持つていた、地域毎の可能性と多様性にもう一度触れてみる。それは郷土の豊かさを見直すことであり、未来の自分を生かすことでもあるのだ。

武の国のイメージが創られた

鹿児島島という何とんでもないサムライのイメージ。ひょうかんな薩摩軍人がチェストの掛け声とともに、敵に飛びかかってくる。昔から鹿児島はそんなところだし、勇敢な偉人を多く輩出してきた、と思ってきた。

でも、本当にずっと武の国だったのだろうか。結論からいうと、四百年前の関ヶ原の合戦を境に武の国を看板とするようになった。とする見方がある。

関ヶ原の合戦、徳川家康が豊臣家から天下の主権を奪取り、天下泰平の基を築いた合戦。この戦いで薩摩の島津氏は敗れた西軍に付いた。そして、その後多くの西軍諸将や豊臣恩顧の大名が取りつぶされる中で、島津家のみは領土を保全する。だから、「いつ徳川が攻めてくるか分からない」状況の中での危機感に相当なもの。そこで自衛策として「来る(攻める)ならこい。しかし、島津家は武勇日本一だぞ」という武の国の価値観が創られていく。



幕末の女性コーナー (維新ふるさと館)

だった。ただ、彼女が鹿児島から世界に羽ばたくに際しては、東京での勉学の道を開いてくれた前田正名など、鹿児島島の多くの人の助成があった。

明治の鹿児島は、我々が思うよりもっと多様性に満ちており、「文」を尊重し温める雰囲気があった。そういう気がしてならない。講義で熱中すると鹿児島弁になったという丹下梅子。彼女の心の鹿児島は、きっと豊かでピュアな風景だったに違いない。

鹿児島島の心を探る歴史の旅いかがだったでしょうか。

章を振り返ってみて感じるのは、その多様性です。武の国というイメージとは全く異なった風景が、私たちの前にいくつもその姿を現してくれま

どの時代にも共通しているのは、与えられた状況の中で、懸命に生き抜こうとするひたむきさです。

分かったことは、この鹿児島が有する特異な風土と文化の歴史は、決してマイナスではなかったということ。地域に合ったライフスタイルの可能性、サムライという日本全体の財産、そして好奇心に満ちた多様性といったものが鹿児島で育まれてきたのです。

この春、皆さんもう一度、二つの施設を見て触れてみてはどうでしょう。

歴史に学ぶことは、今を生きることであり、

価値が創られていく。

まず、島津軍の関ヶ原での活躍(敵中突破)をしのぶ「妙円寺参り」。東西両軍の中で島津家の武勇が一番であったと誇っている。強くて勇敢な薩摩軍人(島津家)のイメージが見事に創られていく。そして「山坂達者」議を言う「な」の価値観も生まれる。この二つを合わせれば軍隊になる。

自分達は強いんだという自己暗示。学問より、勇気とねばり、体力への信仰。そして一糸乱れぬ統率力。戦時ならいざ知らず平時にあっても、常時戦闘体制を持ち続け、ついには県民性にまで昇華した武のイメージ。全ては関ヶ原に原因がある気がするが、いかがだろうか。



鹿児島県下町めぐり(ふるさと考古歴史館)

二人のサムライ、西郷と大久保

激動の幕末、明治維新を楽しく学べるハイテクギャラリー「維新ふるさと館」。西郷や大久保など維新の英傑たちを、音や光やロボットによる多彩な演出で紹介する維新

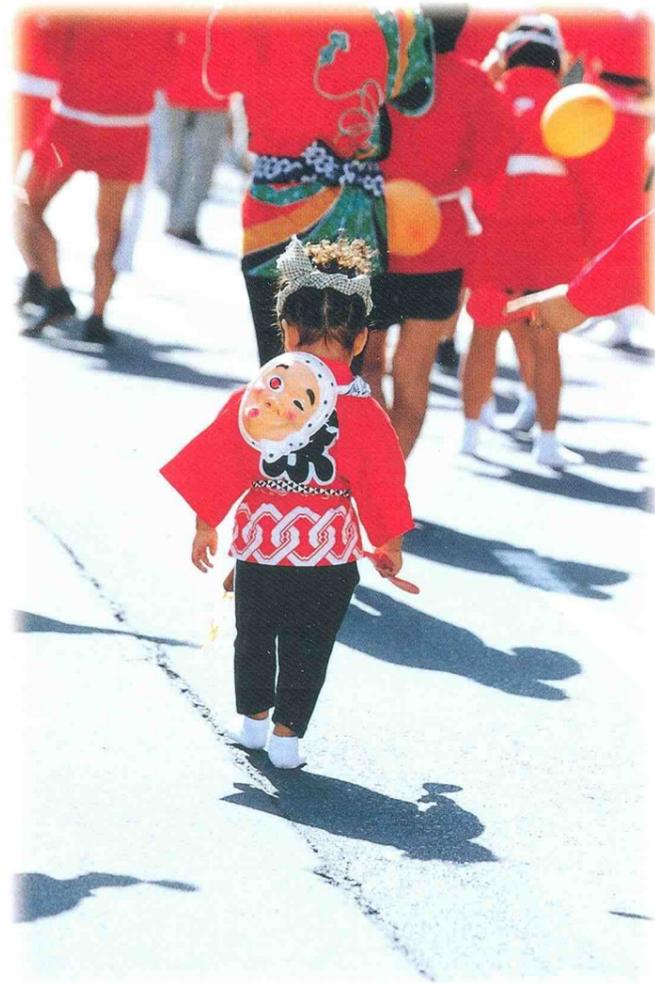
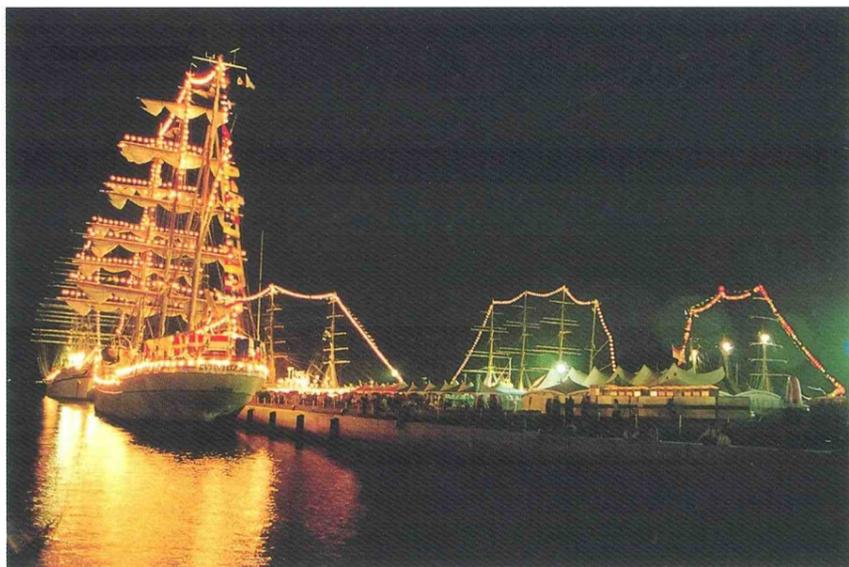
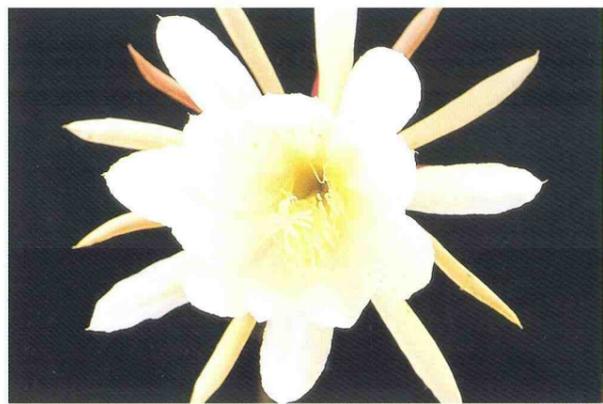
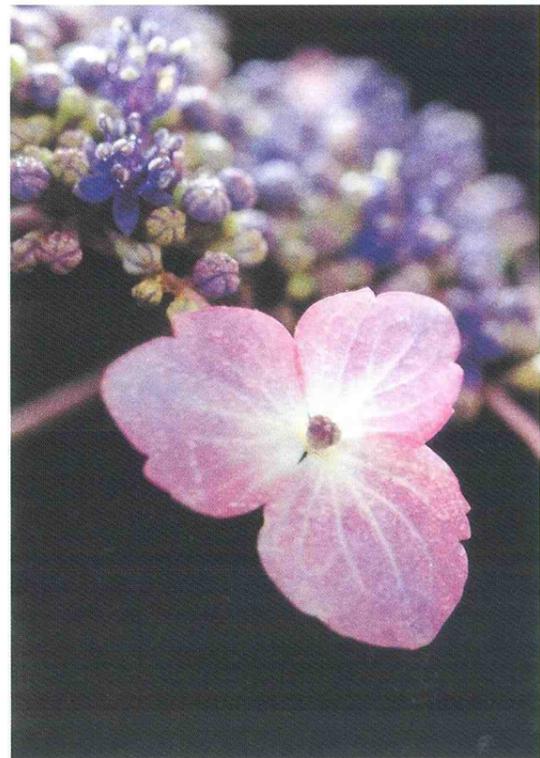
体感ホールなど見どころいっぱい。その西郷と大久保。どうして偉いんだろうか。それは、二人がサムライであったことに因る。

まず、大きなエポックは、徳川幕府を倒した後。薩摩(西郷・大久保)は、明治維新が覇権交代ではなく、近代国家づくりであることと天下に示した。そして、次の大変革は薩摩藩置県。今まで大名が各地を治めていたのを一気に廃止し、日本を一つにまとめる。

いずれの場合も、今までの常識を覆す革命。だから反発も多い。日本という公益のために勇気を持ち無私の心で、一心(勤勉)に取り組んでいく。二人のこの行動が現在の日本の原形を生んだ。そして、今挙げた勇気、無私の心、勤勉といったものが当時の薩摩で培われていたサムライの精神であった。そして、同じサムライでも、西郷は、弱者へのいたわりに優れ、大久保は公平さとねばり強さに優れていた。

近代日本を切り開いたのは、実はこれら公平無私のサムライ達だったのである。そしてその代表が西郷と大久保、そして二人を生んだ薩摩であった。

日本が世界に誇るべきこのサムライという財産。それが大量に失われたのが、明治十年の西南戦争であり、翌年の大久保の不慮の死であった。その後の日本人は何かと身軽になり、経済を中心に異能を發揮する。しかし、一方では途方もなく大事なものを無くしてしまった。その宝物が埋まっております。あたりに雰囲気立ち込めている。それが鹿児島島なのである。



輝



あなたのフォトサロン

写真 荷福 博司さん
輝くもの



タイムよか



スキューバダイビング 吉岡幸栄さん

よかタイム7つの質問

いつから始めたのですか？

おとしの夏から始めました。それまで素潜りの経験はあったのですが、もつと深く潜ってみたいと思ったのがきっかけです。

どういうところが魅力ですか？

別世界を体験できるところです。雄大な自然の中で、自分がいかに小さな存在かを実感します。日常生活のストレスがいつべんに吹き飛んでしまいます。

体力は必要ですか？

やはり、こつをつかむまでは体力が必要です。ウェットスーツだけで約五キログラム。全部の機材を合わせると、約二十キログラムにもなるので、始めのうちは立ち上がるのも大変でした。

錦江湾の海中はどうですか？

桜島の火山灰で濁っているイメージがありました。但实际上に潜ると驚くほど透き通っています。錦江湾にしかない生き物に会うこともできました。砂地があったり岩場があったりと、地形的にも面白いです。

難しくはないですか？

始めてみれば、思いのほか簡単ですよ。年齢に関係なく楽しむことができます。

印象に残った出来事は？

イルカに出会ったことが一番印象に残っています。親からはぐれた子どもイルカでしたが、とても愛らしくて、手を伸ばせば触れそうな所まで近寄って来てくれました。

これから始める人へ一言

とにかく、百聞は一見にしかず。一度潜れば、スキューバダイビングの素晴らしさを実感していただけると思います。ぜひ体験を。



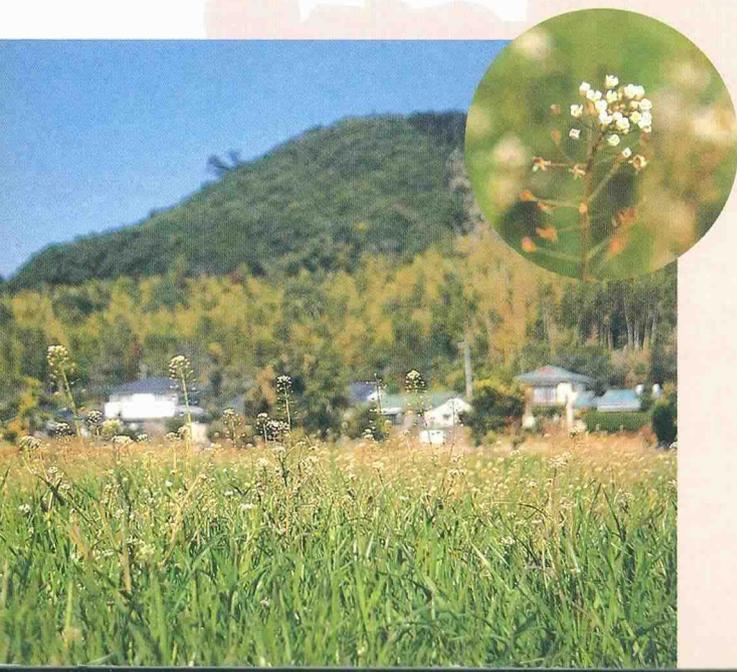
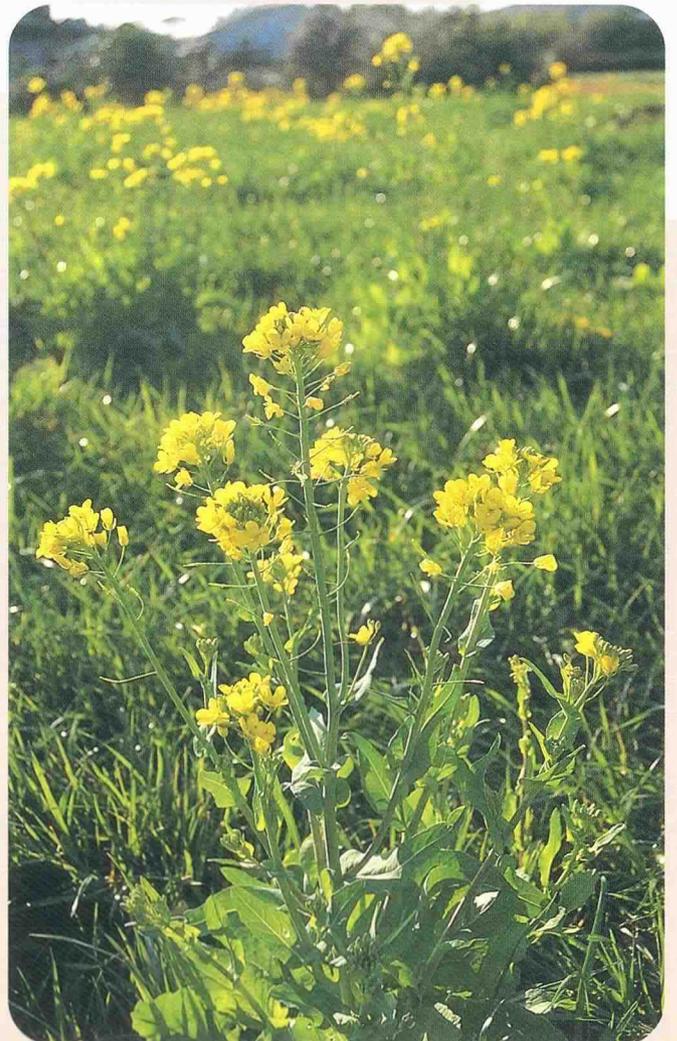
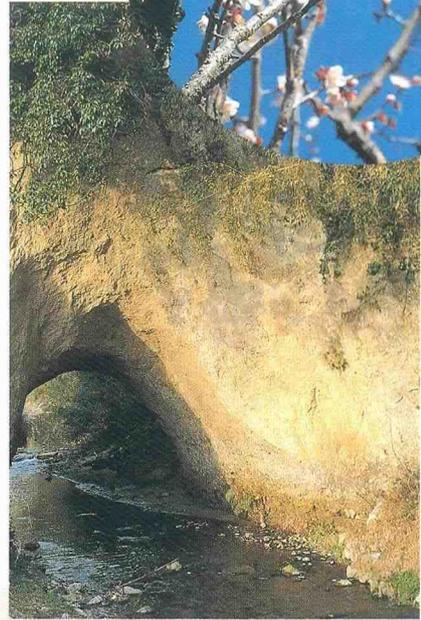
吉岡さんが見た、錦江湾の世界

スキューバダイビングのインストラクターの資格を取るため猛勉強中の吉岡さん。以前は、休日は家で過ごすことが多かったのですが、スキューバダイビングを始めてから、積極的に行動するようになったそうです。

魚といっしょに泳いだ彼女の晴れやかな笑顔が印象的でした。

かごしまの自然

丸岡・熊迫にて





「花かご」 山本久子さん



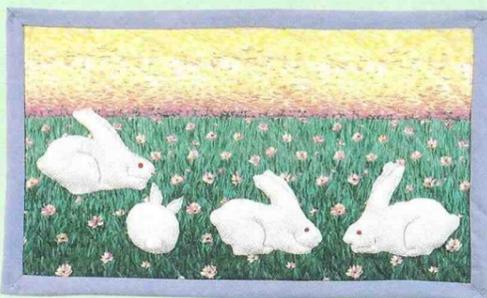
「バッグ」 向江康子さん



「レモンスターのタペストリー」 古園フサ子さん



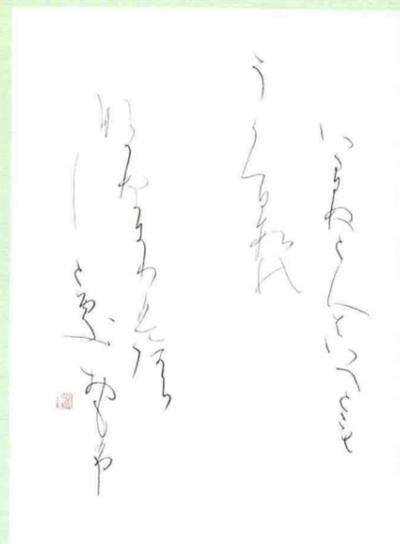
「コラージュ」 福田美津代さん



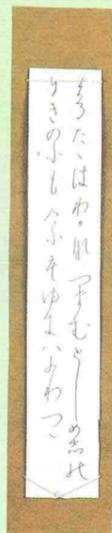
「うさぎたち」 保坂和子さん



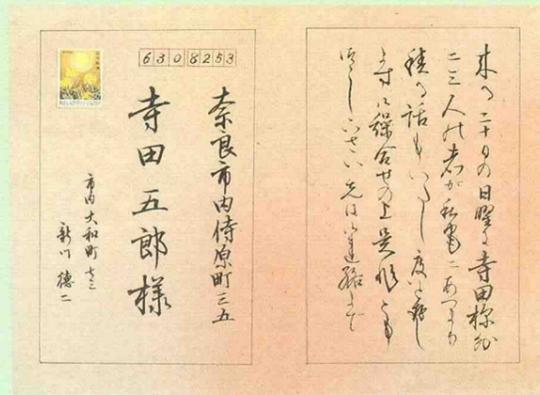
「タペストリー海の嵐」 杉田シマ子さん



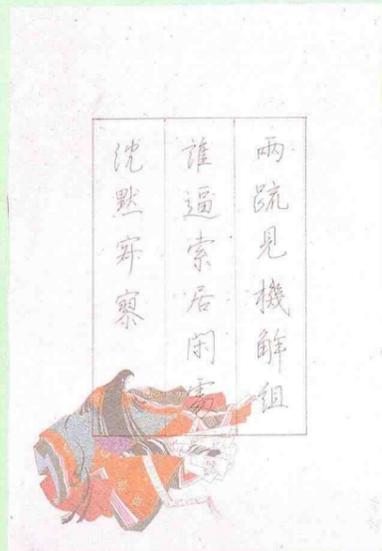
永重フミさん



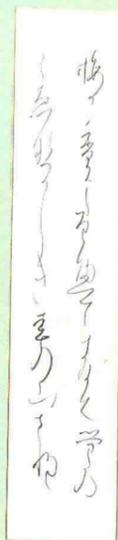
鮫島盛行さん



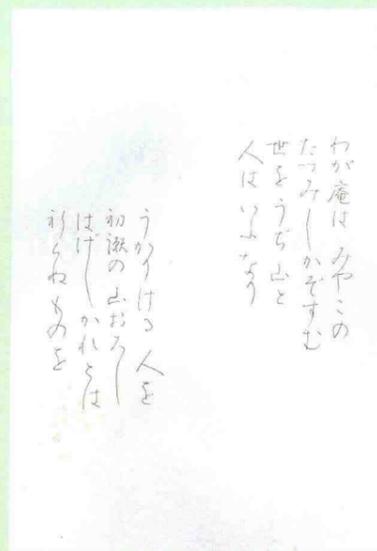
新川徳二さん



宮路芳江さん



中村エミ子さん



森永セツ子さん

伊敷公民館・自主学習グループ 市民ギヤラン

今回は、伊敷公民館のペン習字「文月会」と手芸「パッチワーク」の作品を紹介します。

「文月会」は、橋本康雲先生の指導のもと、毎月第一・二・三金曜日に活動しています。

ペン書道あり、かな書道ありで、初心者からベテランまで各自の目標に向けてマイペースな取り組み。

広く静かな心で書に臨み、筆先にすべてが込められます。

「パッチワーク」は、松田寛子先生の指導のもと、毎月第一・三木曜日に活動しています。布を色々と組み合わせながら、一針一針完成に向けて楽しみが膨らみます。一点ものの個性的な作品。手作りの温かさであふれています。

ふれあいの中で広がる新たな世界、皆さんの作品をどうぞご覧ください。

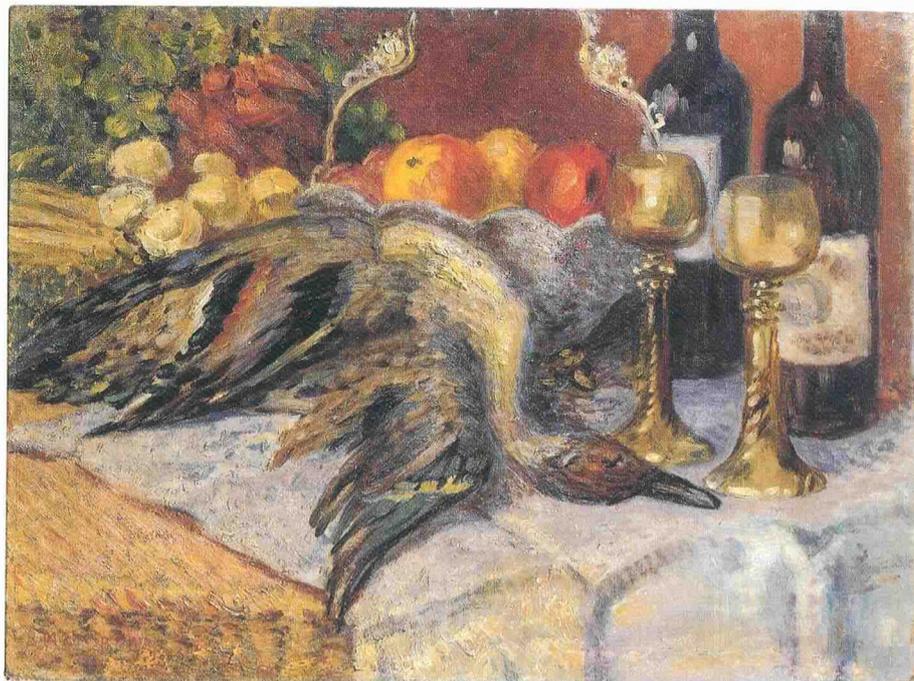
市立美術館

静物

1916年(大正5年)

油彩・キャンバス

サイズ たて45.4cm×よこ60.9cm



作家 有島生馬(1882~1974)

日本近代洋画の代表的作家の一人で、印象派風の明るい色彩を取り入れた作風で知られる。画家としての活動のほか、美術評論や翻訳、小説など執筆活動も活発に行う。兄の有島武郎、弟の里見弴は小説家。

明治15年横浜市に生まれる(父・武は川内市平佐の出身)。本名は壬生馬(みぶま)。明治34年東京外国語学校イタリア語科に入学する。在学中の明治36年秋、島崎藤村を訪問した際にピサロの作品写真に感銘を受け、翌年卒業すると藤島武二に師事し洋画を学ぶ。明治38年渡欧し、ローマやパリの美術学校で学んだほか、ヨーロッパ各地を旅行する。

明治43年帰国すると、文芸雑誌「白樺」の同人となり、印象派ほか西洋美術の新しい動向を紹介する。大正2年、生馬と改名。翌年、日本で初めての在野団体二科会の創設に加わる。その後、二科会を退いて一水会を結成する。

昭和11年には帝国芸術院会員(現・日本芸術院会員)、昭和33年に日展常務理事となる。昭和31年、神奈川県立近代美術館で回顧展開催。昭和39年文化功労者に選ばれる。昭和49年、91歳で逝去。

作品解説

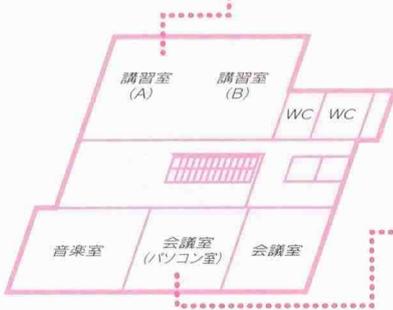
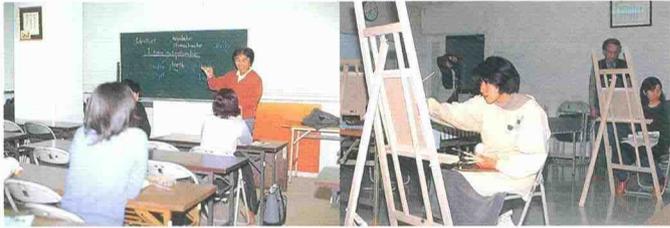
セザンヌは近代美術の礎を築いた作家としてあまりにも有名ですので、一度は名前を耳にしたことがあるでしょう。日本でもこれだけ有名になった画家ですが、初めてその名を世間に広めたのが有島生馬です。有島はヨーロッパに留学した時、パリでセザンヌの回顧展を見て以来彼に傾倒し、帰国後に「白樺」でその芸術や生涯を紹介しました。

静物はセザンヌが好んで描いた対象であり、この「静物」も、テーブルは少し上から、果物かごは真横から——というように、いくつかの視点から描かれている点では、その影響を受けているようです。しかし、より安定した構図を用いて、横たわった鳥の曲線のラインで画面に動きをもたせています。また、細かい筆使いで丁寧に描き込まれた画面は、輝く色彩であふれています。

セザンヌの精神を尊重しながら、自分の目で見いだす本質的なものを追求しようとした有島の芸術の一端がうかがえる作品です。

2階

▼講座やグループ活動に利用されている講習室



▲パソコン室

働く若者たちのオアシス

1階



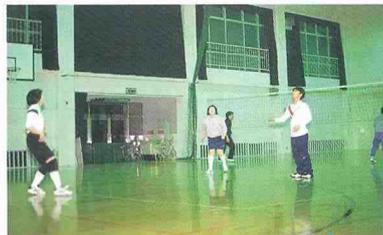
▲ロビー・娯楽談話室は、今年改装され、さらに明るく、親しみやすくなりました。



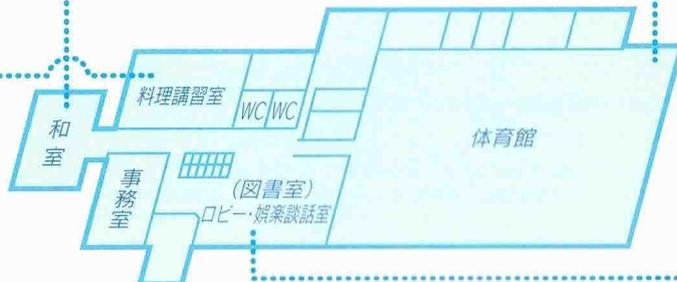
▲料理講座は人気の高い講座です。



▲静かなたたずまいの和室



▶ バレーボールやバドミントンなどで楽しく汗を流せます。



市営施設 見学会

開館25周年
勤労青少年ホーム



今年で開館25周年。これまで多くの勤労青少年に、教養を高めたり趣味やスポーツなどで過ごす場、交流を深める場として利用されてきました。各種講座・グループ活動のほか、スポーツ大会やクリスマスダンスパーティーなどの行事も企画しています。これからも若者の楽しく、健全な余暇活動を支援していきます。

利用案内

- 利用できる人 市内に住んでいるか市内に勤務している15歳以上31歳未満の人
- 開館時間 月～金曜日 午前9時～午後9時
日曜日 午前9時～午後5時
- 休館日 土曜日、祝日、
年末年始(12月28日～1月4日)

交通の案内



- 市営バス 11 11-2 12 15 17 18 番線で「鴨池市営プール前」下車徒歩1分
 - 市電 「郡元」下車徒歩5分
- 〒890-0063 鴨池二丁目32-30
TEL 255-5771 / FAX 255-5750

4月1日供用開始 西部保健センター 4月10日オープン かごしま温泉健康プラザ



かごしま温泉健康プラザ



外観 1・2階：西部保健センター
4階：かごしま温泉健康プラザ

市内で二カ所目の保健センターとなる**西部保健センター**
温泉を活用して市民のみなさんの健康づくりを
推進するための**かごしま温泉健康プラザ**
二つの複合施設がオープンします。

かごしま温泉健康プラザ

- 利用できる人…どなたでも利用できます。
- 開館時間…9時～20時
- 休館日…毎週火曜日(祝日のときは翌日)
年末年始(12月29日～翌年の1月3日)

使用料		区分および単位	使用料
		大人	300円
		小・中学生	150円
回数券	11枚綴り	大人	3,000円
		小・中学生	1,500円

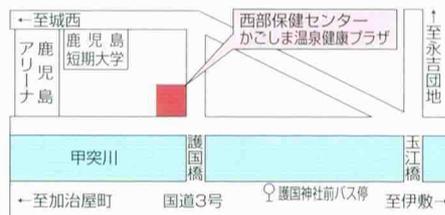
※使用料の免除・減額制度があります。詳しくはお問い合わせください。

- 主な施設…水中運動用のプールや歩行浴、全身・部分浴、気泡浴、寝湯など、いろいろな浴槽設備を備えています。
また、温浴効果を高めるための軽い運動ができるトレーニング室やゆっくりくつろぐためのリラクゼーションルームも備えています。
- 利用するときは、水着・スイミングキャップが必要です。

西部保健センター

- 担当区域…これまで山下保健所が担当していた区域のうち、次の町が西部保健センターの担当区域になります。

- ▷伊敷支所所管区域のすべての町
(伊敷町など24町)
- ▷永吉町、草牟田町、草牟田一・二丁目、新照院町、玉里町、城山一・二丁目、原良町、城西二・三丁目、明和一～五丁目



●住所 〒890-0023 永吉町133-7

※できるだけ、公共交通機関を利用してお越しください。

お問い合わせ：西部保健センター
かごしま温泉健康プラザ

電話 099-252-8522
電話 099-252-8551